

2022 年度(令和4年度)

愛知学泉大学

外国人留学生入学試験

学生募集要項

家政学部

管理栄養学科

ライフスタイル学科

こどもの生活学科

■ 建学の精神・教育目標

目的

本学の目的は「建学の精神」の実践を通して、創立者が目指した経済的・政治的・文化的に自立できる社会人を育成することによって、地域と国際社会に貢献することである。

建学の精神

宇宙の中の一つの生命体である人が、個人として自立しつつありとあらゆる生命体と共生することによって、生きる意志と生きる力と生きる喜びに満ち溢れた鵬のような大局的な存在となることである。

教育目標

本学の教育目標は、社会的に自立して生きていく上で必要な①スキル・リテラシー・教養等に関する一般的知識・技能、②職業に関する専門的知識・技能、③建学の精神・社会人基礎力・p i s a型学力・直観力・自然体を統合的に身に付けて、地域及び国際社会に貢献する社会人を育成することである。

教育方針

本学は、「智・徳・体・感・行」に基づいた3つの挑戦プログラムから構成される自学・共学システムを開発し、これに基づいて教育を行う。

家政学部教育目標

「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神の実践を通して社会的に自立して生きていく上で必要な①スキル・リテラシー・教養等に関する一般知識・技能と②家政に関する専門的知識・技能と③建学の精神・社会人基礎力・p i s a型学力を統合的に身に付け、社会に出てからは、これらの知識・技能をベースに生涯学習社会の中で自己の潜在能力をさらに開発しながら、職場と地域の課題解決に貢献できる人材を育成する。

2022年度入試(令和4年度)について、受験生のみさんの健康と安全を最優先に考え、以下の通り「新型コロナウイルス感染症拡大・防止」の対策を講じながら入学試験を実施いたします。

- ・受験される方は必ずマスクの着用をお願いいたします。なお、本人確認のため写真照合を行う際は一時的にマスクを外していただきます。
- ・発熱、咳などの症状、体調不良を感じた場合は、本学スタッフへ申し出てください。別室受験をお願いする場合があります。なお、試験当日、発熱(37.5℃以上)のある場合は受験を控えてください。
- ・試験当日、受験会場への入場時に検温と手指消毒を行いますのでご協力ください。
- ・試験室内では決められた座席に着席してください。控室などでも私語は控えてください。
- ・試験室(控室含む)は換気のため空気の入れ替えを行うことがあります。
- ・感染の疑いのある方、または濃厚接触者となられた方には、追試験対応の措置を講じますので入試広報室までご連絡ください。

募集人員

学部	学科	募集人員
家政学部	ライフスタイル学科	若干名
	管理栄養学科	若干名
	こどもの生活学科	若干名

出願資格

1. 外国籍を有する者。
2. 外国において学校教育における12年間の課程を修了した者。また、12年間の課程のうち日本の学校教育法に基づく高等学校に在学した期間が3年以内である場合も資格があります。
また、これと同等以上の学力があると本学が認めた者。
3. 日本国内で大学に入学できる資格を持っている者が在留資格を有し、入学後『留学』の在留資格に更新できる者。
4. 本学に入学後の学費、生活費等が確実に支弁できる者。
5. 日本語能力検定試験2級程度と認められ、大学生生活を送るのに十分な日本語能力を有する者。
6. 確実な身元保証人がいること。この身元保証人は日本国内に居住し、本学の学業と一身上に関する一切の責任を負うことができる者。

※出願資格に関して、ご不明な点がある場合は入試広報室までお問い合わせください。

選抜方法

小論文（日本語）と面接による総合判定。※試験日には「保証人面談」も実施いたします。

入試日程

出願期間 ※必要書類郵送締切日消印有効	試験日	合格発表	第1回入学手続	第2回入学手続
2022年 1月7日(金)～1月21日(金)	2022年 1月27日(木)	2022年 2月5日(土)	2022年 2月15日(火)	2022年 2月26日(金)

試験会場

本学（岡崎キャンパス）

試験時間

試験室入室開始	着席完了	小論文（日本語）	面接
9:00～	9:50	10:00～11:00（60分）	11:20～

※保証人面談も同日に実施

出願について(インターネットから行ってください)



STEP 1

事前準備

①出願登録環境

インターネットに接続可能なパソコン、スマートフォンまたはタブレットおよび、用意した機器から接続できるプリンター。プリンターが自宅にない場合、コンビニエンスストア（以下、「コンビニ。」）のマルチコピー機でも印刷が可能です。

また、インターネットの環境がない場合は、入試広報室までご連絡ください。

入試広報室 Tel 0564-34-1215（直通）

平日9：00～17：00 土曜日9：00～14：00（日・祝は対応不可）

②出願サイトに登録する「メールアドレス」および「顔写真（データ）」

・普段から連絡の取りやすいメールアドレス

登録したメールアドレスには、〇〇から「登録完了」の通知が送信されます。

送信を受け取れるようにメール受信設定を行ってください。

・試験時の本人確認に使う顔写真データ

「顔写真」（データ）は3ヵ月以内に撮影した上半身・正面・無帽・背景なしのもの。また、服装は制服・私服はどちらでも良いです。

③「郵送用封筒」

・郵送用封筒は市販の「角2」サイズのものを用意してください。

STEP 2

出願サイトにアクセス

本学ホームページ「入試情報」から「Net出願」へアクセスしてください。

コチラ QRコードからも可能→



STEP 3

マイページをつくる ※出願時に登録することも可能です。

①メールアドレスを登録

・登録したいメールアドレスを画面の指示に従って入力して送信します。送られてきたメールのリンクから登録ページへ移動してください。

・登録にはパスワードも必要です。忘れないパスワードを用意してください。受験票などを印刷する際に必要になります。

②顔写真データおよび基本情報を登録

マイページにログイン後、顔写真データおよび基本情報（氏名、生年月日、出身校等）の事前登録してください。

STEP 4

出願内容を入力

①志望内容等を入力

受験する入試種別、志望する学科、試験会場等を画面に沿って選択してください。

②個人情報を入力

基本情報のほか画面に表示される項目を入力してください。顔写真と基本情報を登録済みの場合、その情報が表示されます。入試結果をお知らせする住所・氏名は正確に入力・確認してください。表示された情報を修正・変更することができます。

③出願内容を確認

ここまで入力した内容を確認します。入学検定料支払い後は入力したデータの変更はできません。

間違いの無いよう十分確認してください。

STEP 5

入学検定料の支払い

入学検定料 35,000円

振込まれた入学検定料は、いかなる理由でも返還することはできません。

①支払い方法を選択

入学検定料の支払いは以下のいずれかで行ってください。

クレジットカード、コンビニエンスストア、ペイジー（金融機関ATM／ネットバンキング）

※支払いには入学検定料のほか別途支払手数料が必要です。支払い方法によって手数料が異なりますので、入学検定料と合わせて支払い金額を確認してください。

②入学検定料を支払う

「**クレジットカード**」で支払う・・・支払い方法を選択する画面で必要な情報を入力して決済してください。出願登録完了時に同時に決済されます。



「**コンビニ**」で支払う・・・出願登録完了画面で「お支払番号」等が画面およびメールで通知されます。選択したコンビニで支払いをしてください。



「**ペイジー（金融機関ATM／ネットバンキング）**」で支払う・・・



出願登録完了画面で「お支払番号」等が画面およびメールで通知されます。選択した方法で支払いをしてください。

コンビニまたはペイジーを選択した場合、支払い期限はお申込み後翌々日の23:59までとなります。支払い期限を過ぎてしまった場合は、再度出願登録をやり直してください。

なお出願期間最終日は当日の23:59までとなります。支払い期限までに支払いを済ませてください。

支払い完了後、支払完了を通知するメールが届きます。内容を必ず確認してください。

STEP 6

出願内容を登録

入力した出願内容および支払い方法を確認し、**登録ボタン**を押して出願内容を登録します。同時に「出願登録完了メール」が送信されます。入学検定料の支払い方法がコンビニまたはペイジーの場合、「お支払番号」等が出願登録完了画面および申込完了メールに表示されます。

STEP 7

出願書類を郵送

①志願票・宛名ラベルを印刷

入学検定料の支払い完了後、マイページから「**志願票・宛名ラベル**」を取得して印刷してください。

自宅にプリンターがない場合は、コンビニでも印刷することができます。

その場合は、**マイページ**にて

志願票をプリント予約する → 「店舗選択画面」で印刷するコンビニを選択 →

利用規約に同意にチェック → プリント予約する書類の選択 → 予約完了画面「プリント予約番号」

→ 控えた番号を予約したコンビニ店舗の端末に入力 → 印刷

の手順で行ってください。

②出願書類を郵送

事前に用意した角2封筒に印刷した**宛名ラベルに貼付**してください。

【出願書類】 ※よく確認をしてください。

1.入学志願票（出力したもの）

2.留学生調査書（様式1）

本学ホームページから本学所定用紙をダウンロードし、自筆で丁寧に記入してください。

2.最終学歴の成績証明書及び卒業証明書

- ・最終学歴、全ての成績証明書及び卒業証明書が必要です。
- ・出願時に大学（または大学に準ずる教育機関）に在学中の場合は、在学証明書も提出してください。
- ・大学または大学院を卒業して学位を授与されている者は、学位記の写しを提出してください。
- ・成績証明書は高等学校から最終学歴までの、在籍した全ての学年の成績が記載されたものを提出してください。
- ・成績証明書や卒業証明書の原本やコピーは受付いたしません。必ず、証明書またはCertified true copy（原本から正しく複製されたものであること、出身学校または公的機関によって証明されたコピー、中国の場合は公証書等）を提出してください。
- ・各証明書は、日本語または英語で作成されたものを提出してください。
日本語または英語の証明書を提出できない場合は、公的機関で承認を受けた日本語または英語の訳文を添付してください。なお、上記書類が願書受付期間に整わない場合には、その旨を書いた理由書（様式自由）を添付してください。

3.入学志望理由書（様式2）

本学ホームページから本学所定用紙をダウンロードし、自筆で丁寧に記入してください（日本語で記入）。

4.日本語能力認定書（様式3）

本学ホームページから本学所定用紙をダウンロードし、日本語講師及び、日本政府在外公務員または認定書作成に適格と思われる方に依頼し、**厳封**にて提出してください。

5.在留カードの写し

居住する市町村役場で発行される在留カードの写しを提出してください。

ただし、外国に居住している人は不要です。

6.パスポート査証（ビザ）の写し

「氏名、パスポート番号の記載されたページ及び写真の貼ってあるページ」と「有効な査証（ビザ）が記載されているページ」をコピーし、提出してください。

7.誓約書（様式4）

本学ホームページから本学所定用紙をダウンロードし、保証人になってくださる方へ記入してもらってください。

上記書類を同封し、必ず**速達・簡易書留で郵便局窓口**から発送してください。提出書類に不備・不足があった場合は受け付けない場合もあります。提出前に必ず確認してください。

また、提出書類の提出期限は、出願期間最終日の消印有効で受付いたします。期日に間に合うように、郵送または岡崎キャンパスまで持参してください。持参する場合は平日は17時まで、土曜日は14時まで窓口にて受付いたします（日・祝は対応不可）。

STEP 8

受験票を印刷

出願書類が受理されると、受験票が発行された旨がメールおよびマイページに通知されます。

マイページから「**受験票**」を取得して印刷してください。

自宅にプリンターがない場合は、STEP 7 ①の入学志願票の印刷と同様の手続きを行い、コンビニで印刷してください。

試験当日は印刷した受験票を必ず持参してください。

受験票は本学から郵送しません。

試験当日の注意事項

1. 受験票で指定した試験会場以外での受験はできません。
2. 受験票は各自で印刷し、試験当日必ず持参してください。
3. 試験室の入室開始は午前9時からです。試験開始は10時となりますので10分前に着席を完了してください。
4. 試験開始20分を経過した後の試験室への入室は認めません。係員の指示に従ってください。
5. 受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは「黒鉛筆（HB以上）もしくはシャープペンシル（HB以上）」「消しゴム」「鉛筆削り（電動式を除く）」「時計（スマートフォン・携帯電話・腕時計型端末・PHS等は不可）」「眼鏡」です。
6. 「ハンカチ」「ティッシュペーパー」「座布団」「防寒具（ひさ掛け等）」「目薬」の使用を希望する場合には、試験前に係員に申し出て、許可を得てから使用してください。
7. スマートフォン・携帯電話・腕時計型端末・PHS等を所有している受験生は試験室に入る前にアラームの設定を解除（アラームは設定を解除しないと電源を切っても鳴り出すことがあるので注意してください）し、必ず電源を切ってかばん等に入れてください。また、マナーモードに設定している場合でも、必ず電源を切ってください。
8. 試験中にかばん等の中で携帯電話等の着信音やマナーモードの振動音が発生した場合は、試験監督者が本人の了解を得ずにかばん等を試験室外に持ち出し、試験実施本部で当該試験終了後まで保管します。
9. 試験中の「マスクの着用」を認めます。本人確認のため写真照合を行う際は、一時的にマスクをはずしてください。
10. 受験に関して不正行為があった場合は、その時点以降の受験はできません。また、受験した部分についても無効になります。
11. 試験時間終了前の退室は原則として認めません。
12. 試験時間中は、監督者の指示に従ってください。
13. 昼食を必要とする受験生は、各自で用意してください。（学生食堂は営業していません。）
14. 保証人面談も同日に実施いたします。受験生と一緒にお願いします。

その他の注意事項

- ・試験前日は試験会場内に立ち入ることはできません。
- ・本学ホームページで入試に関する最新情報を更新しています。バスダイヤなど、ご確認ください。

留学生の保証人になってくださる方へ

愛知学泉大学では、留学生の保証人の方へ以下のことをお願いしています。趣旨をご理解の上、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

1. 受験時の同伴のお願い

本学では入学試験当日、保証人の方に受験生に付き添って試験場へお越しいただいています。

当日は、受験生本人が入学後よりよい学生生活を送るために具体的な保証の確認の話し合いをさせていただきます。

2. 生活面での支援

留学生が有意義な4年間を過ごすためには、保証人の力添えが不可欠です。生活習慣や文化の異なる日本での生活の援助と支援をお願いします。

3. 学業面での支援

学業継続に関する困難な問題が発生した場合、大学と協力し共に援助・支援をいただきますようお願いいたします。

合格発表・入学手続・学納金等について

合格発表

- ・受験者または保証人に対して合格発表日に速達で試験結果を郵送します。**国外への通知は原則行いません。**
- ・合格者に対して、入学手続書類を結果通知に同封します。
- ・電話による可否の問い合わせには一切応じません。

入学手続

入学手続には、①**第1回入学手続** ②**第2回入学手続** ③**入学手続書類提出**があります。合格者は、入学手続関係書類をよく読み、**各手続きをそれぞれ所定の期日まで**に行ってください。すべての手続きが終了して、入学手続きの完了となります。

納入金

学部	学科	第1回入学手続	第2回入学手続
家政学部	ライフスタイル学科	250,000円	430,160円
	管理栄養学科		455,160円
	こどもの生活学科		440,160円

入学手続上の注意

1. 入学手続きは、所定の振込用紙（合格通知に同封）を使用し、最寄の金融機関（ゆうちょ銀行を除く）より電信扱いで振込みください。**ATMやネットバンキングでは振込むことはできません。**
2. 振込用紙の**振込人欄には受験生本人の氏名を記入してください。**
3. 入学手続金の振込みが**所定の期日までに完了しない場合は、入学辞退と判断し、入学が許可されません**ので注意してください。
4. 入学手続金は、一括で納入することも可能です。その場合は第1回入学手続締切日が期日となります。
5. 入学手続完了者のうち、2022年3月31日（木）正午までに「入学辞退」を申し出た場合は、「入学金」以外の納入費用を返還します。
6. 合格した場合でも、本学が入学不適切と認めた場合は、合格後に入学を取り消す場合があります。

学費等の減免

外国人留学生に対して「**安城学園私費外国人留学生学費減免規定**」により、**授業料及び教育充実費の30%が減免**されます。

学納金については、次の一覧表通りです。ただし、この納入金は2021年度入学者のものであり、2022年度は変更することもあります。

学納金・委託徴収費

内訳明細		入学時		1年次後期		
		外国人留学生	日本人学生	外国人留学生	日本人学生	
学納金	入学金	250,000	250,000	—	—	
	授業料	※255,500	365,000	※255,500	365,000	
	教育充実費	※136,500	195,000	136,500	195,000	
	実験実習費	ライフスタイル学科	25,000	25,000	—	—
		管理栄養学科	50,000	50,000	—	—
実習費	こどもの生活学科	35,000	35,000	—	—	
委託徴収費	学生会費	8,500	8,500	—	—	
	学生教育研究災害保険	3,300	3,300	—	—	
	学生教育研究賠償責任保険	1,360	1,360	—	—	
合計	ライフスタイル学科	680,160	848,160	392,000	560,000	
	管理栄養学科	705,160	873,160			
	こどもの生活学科	690,160	858,160			

※授業料、教育充実費を30%減免

※諸会費（教育後援会費・後援会費）については、入学後にご案内いたします。

学費以外に入学後必要な費用等

下記の資格・免許の取得を希望する者は、課程履修費等が必要です。

学科	取得資格・免許等
ライフスタイル学科	中学校教諭一種免許状（家庭）、高等学校教諭一種免許状（家庭）スポーツインストラクター、色彩検定など
管理栄養学科	管理栄養士国家試験受験資格、栄養士免許、栄養教諭一種免許状、NR・サプリメントアドバイザー、健康運動実践指導者 など
こどもの生活学科	レクリエーションインストラクター、スポーツインストラクター、色彩検定 など

下宿先について

岡崎キャンパス学生課へご相談ください。

TEL0564 - 34 - 1214

教育目標 ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー

家政学部ライフスタイル学科

1. 教育目標

家政学部の教育目標の下、これからの社会の新しいライフスタイルのデザインを提案することによって、人々の日常生活を衣・食・住および地域活性の面から以下の3項目を身につけた人材を養成する。

- ① 建学の精神、社会人基礎力、pisa型学力を修得して、職場と地域の人々と協働して解決していくことができる。
- ② ライフスタイルのデザインを提案するために必要な衣・食・住および地域活性に関連する専門的知識・技能を身につけ、地域再生に貢献することができる。
- ③ 自立した社会人として、常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献することができる。

2. ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

正規のカリキュラムの所定の単位を修得した者には卒業を認定し、学士（家政学）の学位を授与します。学位を授与するにあたって重視する項目は以下の通りである。建学の精神、社会人基礎力、pisa型学力を修得して、職場と地域の人々と協働して解決していくことができる。

- ① ライフスタイルのデザインを提案するために必要な衣・食・住および地域活性に関連する専門的知識・技能を身につけて、地域再生に貢献することができる。
- ② 自立した社会人として、常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献することができる。

3. カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

カリキュラムの編成

家政学部3学科共通の共通科目とライフスタイル学科の専門科目および「中学校教諭一種免許状（家庭）、高等学校教諭一種免許状（家庭）」取得のための自由科目から構成されている。授業形態は、講義・演習・実習の3タイプからなるが、すべての科目において、グループワークの機会を設定し、また地域と連携した内容の授業科目を各年次に配置することによって、社会人基礎力・pisa型学力を育成していく。

また、各科目の関連性を明確化するためにカリキュラムマップを作成している。

(1) 共通科目

共通科目は社会的に自立して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等を学修するために置かれた家政学部共通のカリキュラムで、「教養分野」「保健体育分野」「外国語分野」の3分野から構成されている。

「教養分野」では、家政学・自然科学・人文科学・社会科学に関する基礎的な知識・技能を学修する。「保健体育分野」では、講義と実技を通して身体と健康に関する基礎的な知識・技能を学修する。「外国語分野」では、異文化を理解する上で必要な基礎的な知識・技能を学修する。

初年次教育として「未来へつなぐアウトリーチスタートアップ」および「未来へつなぐアウトリーチ！」を配置している。「未来へつなぐアウトリーチ！」では、PDCA（P：計画、D：実施、C：チェック、A：修正）サイクルを活用して、家政学の核となる衣・食・住・消費活動などの生活環境の視点から地域の課題を発見し、その課題解決を目指す。

共通科目からは24単位以上の取得が必要となる。

(2) 専門科目

専門科目は、これからの時代の新しいライフスタイルを創造しうる能力を持った生活者および衣・食・住および地域活性のエキスパートを育成するための科目として編成されている。

専門科目のカリキュラムは、ライフスタイル学基幹科目群を軸に、「空間・情報デザイン」「食品開発・マネジメント」「ビジネス・地域活性」の3分野から編成されている。これらの専門科目群により、生活に関する専門的知識・技能を獲得し、それを活用しながら、自らを含む地域社会の課題を解決する方策を実践的に学修する。

① ライフスタイル学基幹科目群では、生活に対する基本的視座を涵養するために「ライフスタイル学基礎講座」「ライフスタイル学演習（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）」と「国内研修旅行」を、生活に関する基礎的な知識を獲得するために、衣・食・住の各領域の概論（「衣生活論」「食生活論」「住生活論」）を必修科目として置く。また、4年間の学修の集大成となる卒業研究もこれに含む。

② 「空間・情報デザイン」では、身体との近接環境である衣服やインテリアおよび情報環境をデザインするために必要な知識・技能を学修する。「食品開発・マネジメント」では、食品開発に必要な食文化、食品、栄養、調理に関する知識・技能を学修する。「ビジネス・地域活性」では、地域の問題を収集、分析、整理して課題解決の提案をするために必要な知識・技能を学修する。

3分野のうちいずれかの分野を中心に履修し、その他の分野の科目を補完的に選択することによって、専門性を培うことが可能となる。ただし生活を理解し、新しいライフスタイルのデザインを提案するために必要な科目として、衣・食・住に関する基礎的な実習（「ファッション造形実習Ⅰ」「基礎調理実習」「インテリアデザインⅠ」）と衣・食・住の各文化論（「服飾文化論」「世界の食文化」「住文化論」）、「リサーチリテラシー」「プレゼンテーション基礎」「ビジュアルプレゼンテーション演習」を必修科目として置く。また各分野には、学修内容をより実践的に応用し、新しいライフスタイルをデザインするための素地を養うためにPBL型の科目、「スタジオA（空間・情報デザイン）」「B（食開発）」「C（地域活性）」を選択必修科目として置く。

専門科目として96単位以上の取得が必要となる。

卒業には共通科目と専門科目合計で124単位を必要とする。

(3) 自由科目

卒業要件単位の他に「中学校教諭一種免許状（家庭）、高等学校教諭一種免許状（家庭）」を取得するために必要な科目として、22科目44単位を置く。

(4) 取得可能な資格

- ① 中学校教諭一種免許状（家庭）

- ② 高等学校教諭一種免許状（家庭）
- ③ フードスペシャリスト ※認定試験受験資格
- ④ 商品プランナー ※認定試験受験資格
- ⑤ スポーツインストラクター ※認定試験受験資格
- ⑥ 商品装飾展示士3級 ※認定試験受験資格

4. アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

ライフスタイル学科では、愛知学泉大学の掲げる建学の精神を尊重し、衣・食・住を中心とした暮らしに関わる様々な事象に強い関心を抱き、より良い生活のあり方を提案しうる能力を持った生活者および衣・食・住の領域のエキスパートとして社会に貢献したいという意欲を持った人を選取る。

そこで、次に掲げるような人を積極的に受け入れる。

(A) 学力の3要素について

(A-1) 基礎的・基本的な知識・技能について

国語、地歴・公民、生物・化学、数学、英語、家庭に関する高等学校卒業レベルの基礎学力を身につけている。

(A-2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等について

- ① 日常生活の中から課題を発見し、それらの課題に対して自分の考えを持つことができる。
- ② 他者の考えを理解し、自分の考えと合わせて課題を分析することができる。
- ③ 適切な表現方法を選択し、自分の考えを他者にわかりやすく伝えることができる。

(A-3) 主体的に学習に取り組む意欲・関心・態度について

- ① 衣・食・住をはじめとして家族・家庭、地域、環境など暮らしに関わる様々な事象に強い関心を持っている。
- ② 大学での学びの過程で、社会人基礎力を伸ばし、pisa型学力を身につけたいと考えている。
- ③ 建学の精神を实践し、自己の特性を伸ばしつつ、社会に貢献したいと考えている。

(B) 行動特性について

- ① 向学に対しても積極的に取り組み、継続して努力することができる。
- ② 様々な課題の解決に向けて深く考察し、複数のアイデアを提案できる。
- ③ 内容を整理しながら聞き、わからないことは進んで質問をすることができる。
- ④ 社会のルールに則り、自らの言動を適切に律することができる。

(C) 評価について

- ① 知識・技能については、記述式の筆記試験および調査書で確認する。
 - ② 思考力・判断力・表現力等については、記述式の筆記試験および面接で確認する。
 - ③ 主体的に学習に取り組む態度については、面接および調査書で確認する。
 - ④ 行動特性については、面接および調査書で確認する。
- 以上よりライフスタイル学科の教育目標に関心を持ち、本学で学修する意欲と感心の高い学生を受け入れる。

家政学部管理栄養学科

1. 教育目標

家政学部の教育目標の下、管理栄養士の資格を生かして、「食」の専門家として「疾病治療・重症化予防」「疾病予防」「食育・食環境の整備」のための高度な知識と技能を持ち、人々の日常生活を健康の面から以下の3項目を身につけた人材を養成する。

- ① 建学の精神、社会人基礎力、pisa型学力を修得して、職場と地域の人々と協働して課題を解決していくことができる。
- ② 管理栄養士に必要な疾病・疾病予防・食育に関する専門知識・技能を身につけ、豊かな食生活と健康を創造することができる。
- ③ 自立した社会人として、常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献することができる。

2. ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

正規のカリキュラムの所定の単位を修得した者には卒業を認定し、学士（家政学）の学位を授与します。学位を授与するにあたって重視する項目は以下のとおりである。

- ① 建学の精神、社会人基礎力、pisa型学力を修得して、職場と地域の人々と協働して課題を解決していくことができる。
- ② 管理栄養士に必要な疾病・疾病予防・食育に関する専門知識・技能を身につけ、豊かな食生活と健康を創造することができる。
- ③ 自立した社会人として、常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献することができる。

3. カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

カリキュラムの編成

基礎科目と専門科目から構成される。授業形態は、講義・演習・実習の3タイプ用意して、各科目の関連性を明確化するためにカリキュラムマップを作成している。

(1) 共通科目

社会的に自立して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等を学修するために、家政学部共通科目として編成している。共通科目は、「教養分野」「保健体育分野」「外国語分野」の3分野で編成している。「教養分野」では、家政学・自然科学・人文科学・社会科学に関する基礎的な知識・技能を学修する。「保健体育分野」では、講義と実技を通して身体と健康に関する基礎的な知識・技能を学修する。「外国語分野」では、異文化を理解する上で必要な基礎的な知識・技能を学修する。

初年次教育として「未来へつなぐアウトリーチスタートアップ」および「未来へつなぐアウトリーチ！」を配置している。「未来へつなぐアウトリーチ！」では、PDCA（P：計画、D：実施、C：チェック、A：修正）サイクルを活用して、家庭

学の核となる衣・食・住・消費活動などの生活環境の視点から地域の課題を発見し、その課題解決を目指す。

共通科目として24単位以上の取得が必要となる。

(2) 専門科目

専門科目は、管理栄養士の資格を生かした「疾病治療・重症化予防」、「疾病予防」、「食育・食環境の整備」等、管理栄養士の資格を生かした各分野で活躍する人材の育成を目的としたカリキュラムを編成している。また、「栄養教諭一種免許状」も取得可能である。

管理栄養学科の専門教育は、専門分野の基礎となるものを専門基礎分野、応用となるものを専門分野に配置し、段階的に理解できるように授業を展開する。管理栄養士学校指定規則に基づき、以下の領域に分類される科目群を配置し、学年の進行に合わせて、各領域の知識や技能を講義・実験・実習により修得し、臨地実習により実践力を身につけられるようにカリキュラムを編成する。

専門科目として84単位以上の取得が必要である。

(3) 専門基礎分野

- ① 栄養学を学ぶために必要な基礎的な専門知識を修得するために、「生物学入門」、「化学入門」、「化学基礎実験」、「栄養英語」を置く。
- ② 社会的課題としての保健・医療・福祉等についての基礎知識並びに環境因子、社会的諸制度としての衛生行政・衛生法規・地域保健対策等について理解するために、「公衆衛生学」に関する必修科目を置く。
- ③ 人体の構造や機能を体系的に理解した上で、主要疾患の成因・病態・診断・治療等について理解を深めるために、「解剖・生理学」、「生化学」、「臨床医学」に関する必修科目とともに実験・実習科目を置く。
- ④ 食品の化学成分の構造・性質、物性等の基礎知識および調理・加工による変化、栄養性・嗜好性の高い食物を調製する技術、食品表示・安全性について学ぶために、「食品学」を「調理学」、「食品衛生学」に関する必修科目とともに実験・実習科目を置く。

(4) 専門分野

- ① 栄養の基本的概念およびその意義並びにエネルギー、栄養素の代謝とその生理的意義を理解するために、基礎栄養学に関する必修科目とともに実験科目を置く。
- ② 各ライフステージにおける栄養状態や心身機能の特徴に基づいた栄養管理の基礎を理解するために応用栄養学に関する必修科目とともに実習科目を置く。
- ③ 健康・栄養状態・食行動・食環境に関する情報を収集・分析するとともに、それらの総合的評価・判定に基づく栄養教育プログラムを作成する能力を修得するために、栄養教育論に関する必修科目とともに実習科目を置く。
- ④ 傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいて栄養管理計画の作成・実施・評価に関する総合的マネジメントの考え方を理解するために、臨床栄養学に関する必修科目とともに実習科目を置く。
- ⑤ 地域や職域の健康・栄養問題とそれを取り巻く諸要因を分析するとともに様々な健康・栄養状態の者に対する適切な栄養関連サービスのあり方について理解を深めるために、公衆栄養学に関する必修科目とともに実習科目を置く。
- ⑥ 給食運営や関連の資源を総合的に判断し、栄養面・安全面・経済面全般についてマネジメントを行う能力を修得するために、給食経営管理論に関する必修科目とともに実習科目を置く。
- ⑦ 各専門分野に関わる知識についてさらに理解を深めるとともに、管理栄養士に必要とされる知識・技能を統合して実践活動の場での課題解決能力を修得するために、「臨床総合演習」、「臨地実習」、「卒業研究」を置く。
- ⑧ 管理栄養士として卒業後の進路をサポートするための科目（アップグレード分野）を置く。
- ⑨ 課題解決型行動特性及び課題解決型学力の修得、自己成長のためのキャリアビジョンの方向性や目標の明確化のために、「管理栄養士への道」・「基礎キャリア教育」を置く。さらに、「疾病治療・重症化予防」、「疾病予防」、「食育・食環境の整備」の3分野の実習科目を設け、これまでに学修した専門的知識・技能を活用して、実践活動に結びつける。

(5) 栄養に係る教育に関する科目

教育の現場で必要とする知識・技能を修得して、「栄養教諭一種免許状」が取得できるカリキュラム（18科目で構成）を編成している。授業方法は、以下の3点に焦点を当て、講義に加え事例研究・模擬授業・グループ討議・ロールプレイング等実践的な学修方法を取り入れる。

- ① 学校における食育のあり方や栄養教諭の職務内容の理解等栄養教諭に必要な食育基本法や学校給食法等を学修する。
- ② 食育の模擬授業や肥満・やせ、食物アレルギー等栄養教諭に必要な個別指導の実践能力を育成する。
- ③ 小学校・中学校の役割・組織及び栄養教諭の職務内容に関する理解を通して、栄養教諭としての使命感と責任感を育成する。

管理栄養士受験資格を得るためには、専門科目として112単位以上の取得が必要である。

卒業に必要な総単位数は124単位である。

(6) 取得可能な資格

- ① 管理栄養士国家試験受験資格
- ② 栄養士免許
- ③ 栄養教諭一種免許状
- ④ 食品衛生監視員任用資格
- ⑤ 食品衛生管理者任用資格
- ⑥ 健康運動実践指導者 ※認定試験受験資格
- ⑦ NR・サプリメントアドバイザー ※認定試験受験資格
- ⑧ 商品プランナー ※認定試験受験資格

4. アドミッション・ポリシー（入学受け入れの方針）

管理栄養学科では、栄養学に強い関心を抱き、「疾病治療・重症化予防」、「疾病予防」、「食育・食環境の整備」などの分野で管理栄養士として社会に貢献したいと

いう意欲を持った人を求める。

そこで、次に掲げるような人を積極的に受け入れる。

(A) 学力の3要素について

(A-1) 基礎的・基本的な知識・技能について

化学、生物、国語、数学、英語に関する高等学校卒業レベルの基礎学力を身につけている。

(A-2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等について

- ① 食を取り巻く課題を積極的に発見し、自分の考えをまとめることができる。
- ② 自分の考えを他者にわかりやすく説明できる能力を持っている。

(A-3) 主体的に学習に取り組む意欲・関心・態度について

- ① 管理栄養士として活躍し、将来的にはその指導的な役割を担う意欲を持っている。
- ② 疾病と栄養との因果関係に関心を持ち、その解明に努力をすることができる。
- ③ 食を取り巻く問題を積極的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

(B) 行動特性について

- ① 何事に対しても積極的に取り組み、継続して努力することができる。
- ② 様々な課題の解決に向けて深く考察し、複数のアイデアを提案できる。
- ③ 内容を整理しながら聞き、わからないことは進んで質問をすることができる。
- ④ 社会のルールに則り、自らの言動を適切に律することができる。

(C) 評価について

- ① 知識・技能については、記述式の筆記試験および調査書で確認する。
 - ② 思考力・判断力・表現力等については、記述式の筆記試験および面接で確認する。
 - ③ 主体的に学習に取り組む態度については、面接および調査書で確認する。
 - ④ 行動特性については、面接および調査書で確認する。
- 以上より管理栄養学科の教育目標に関心を持ち、本学で学修する意欲と感心の高い学生を受け入れる。

家政学部 子どもの生活学科

1. 教育目標

大学の教育目標・教育方針の下に、小学校教諭・幼稚園教諭・保育士の資格を生かして子どもたちの学力および社会性・社会力の基礎・基本を育てることによって、人々の日常生活を子育ての面から支援することができる人材を養成する。

- ① 建学の精神、社会人基礎力、pisa型学力を修得している。
- ② 現代のこどもの生活問題に対する認識と現実の保育および教育現場での課題に対する見識を深め、専門的な知識と技能を身につけ、現代の子育て問題や教育再生、地域再生に取り組むことができる。
- ③ 自立した社会人として、常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献しようとする姿勢を持っている。

2. ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

正規のカリキュラムの所定の単位を修得した者には卒業を認定し、学士（家政学）の学位を授与します。学位を授与するにあたって重視する項目は以下の通りである。建学の精神、社会人基礎力、pisa型学力を修得して、職場と地域の人々と協働して解決していくことができる。

(1) 知識・理解

- ① 生活者の視点から生活を科学することは、生活の質の向上と人々の健康、安全、福祉に貢献する実践的総合科学であることを理解している。
- ② 知識基盤社会化する社会において、家政学の知識の修得を通じて、生活の向上を推進することを認識し、その価値を十分理解している。

(2) 汎用的技能

- ① 生涯にわたって学び続けることのできる教養を基礎力として、家政学の分野から修得した専門知識・能力を身につけている。
- ② 知識・技能をベースに生涯学習社会の中で自己の潜在能力をさらに開発しながら、職場と地域の課題を解決する能力を身につけている。

(3) 行動特性

- ① 身につけた四大精神、社会人基礎力、pisa型学力と家政に関する専門的知識・技能を統合して、社会の課題解決に貢献することができる。
- ② 主体的に生活を科学的に探究し、自分自身の職業的能力を地域・社会に還元し「生きる力」に発展させ、社会をより豊かにしていくことができる。

3. カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

カリキュラムの編成

家政学部3学科共通の共通科目と、子どもの生活学科の専門科目（「小学校教諭一種免許状」、「幼稚園教諭一種免許状」、「保育士資格」が取得できるよう、法令等に適合したもの）によって構成されている。専門科目では学科における重要科目である「コア科目」、「共通科目」に加え、資格による区分を明確にするために、「幼児領域」、「小学校領域」という区分構成にしている。そして実習に関わる「実習領域」とともに、学生の資質や専門性を高める領域として「ライフ開拓領域」を設置する。授業形態は、講義・演習・実習の3タイプであり、実務を視察に入れた知識を修得し、それを生かして社会人基礎力・pisa型学力を育成していく。

また、各科目の関連性を明確化するためにカリキュラムマップを作成している。

(1) 共通科目

共通科目は社会的に自立して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等を学修するために置かれた家政学部共通のカリキュラムで、「教養分野」「保健体育分野」「外国語分野」の3分野から編成されている。

「教養分野」では、家政学・自然科学・人文科学・社会科学に関する基礎的な知識・技能を学修する。「保健体育分野」では、講義と実技を通して身体と健康に関する基礎的な知識・技能を学修する。「外国語分野」では、異文化を理解する上で必要な基礎的な知識・技能を学修する。

初年次教育として「未来へつなぐアウトリーチスタートアップ」および「未来へつなぐアウトリーチ1」を配置している。「未来へつなぐアウトリーチ1」では、PDCA（P:計画、D:実施、C:チェック、A:修正）サイクルを活用して、家政学の核となる衣・食・住・消費活動などの生活環境の視点から地域の課題を発見し、そ

の課題解決を目指す。

共通科目からは24単位以上の取得が必要となる。

(2) 専門科目

専門科目では、「幼児領域」と「小学校領域」に区分して編成している。「小学校教諭一種免許状」、「幼稚園教諭一種免許状」、「保育士資格」を修得することを学科の目的としているが、「幼児領域」と「小学校領域」で区分することにより、自身の目指す進路を早期のうちにより明確化させ、学生の学修の意義と価値を意識づけすることを狙いとしている。専門科目内の分類は以下の通りである。

- ① 「コア科目」では、本学が基調としている建学の精神と社会人基礎力の涵養、およびpisa型学力の伸長を、1年次から4年次までに渡って系統的に図っていく。また、保育者・教育者としての資質の育成や基礎学力の確認と再構築も視野に入れて、多角的に学生の能力を育成していく。
- ② 「共通領域」では、「幼児領域」と「小学校領域」に共通する原理的な学修から、幼小連携などの今日的課題も含んだ学びを行う。それらに加え、家政学の視点における保育・教育を意識づけるための「こども生活学」を設定する。
- ③ 「幼児領域」においては、保育の5領域に関わる「健康・栄養・人間関係・表現・環境」の分野をそれぞれ系統立てて、基礎から応用まで関連づけて構成している。年次配当において、2年次以降に「保育実習」および「施設実習」に向くための最低必要知識を修得できるよう、基礎知識を修得できるカリキュラムを1年次から設定している。また、実習終了後に応用知識を修得できる機会として、保育の5領域に系統づけられた応用科目を設置している。
- ④ 「小学校領域」においては、各教科における教科教育法と教科研究の科目が、連続もしくは系統配列するように位置づけている。こちらも3年次に行われる「教育実習」との関連で、実習前に必ず修得しておくべき教科を実習前に設定し、実習後の振り返りを兼ねた教科研究の中で、実践的な技術を修得するように構成している。また、実務においては重要であるものの、教育実習においては未修得であっても特段の支障がないとされる「学級経営」などの科目は、実習後に体験を通じた振り返りができるといふ点から、修学後半の年次に設置している。
- ⑤ 「実習領域」では、大学で学んだ専門知識や指導・支援の技術を実践的に体験するとともに、実務実習を経験する中で、学校や保育所を含む児童福祉施設の役割や機能について理解する。また、その機会を通して職務的な使命感や自身の課題を明確にするとともに、教育者・保育者に付随した様々な業務を体験的に学ぶ。
- ⑥ 「ライフ開拓領域」においては、保育者・教育者として各自の人格形成や資質向上を目的とし、選択形式での科目を設置している。具体的には、コミュニケーションの軸をなす発声やイラストレーション等に関する技術能力の向上や、アクティビティ能力を向上させるための活動技術の修得とそれにとまなう資格取得に向け実践的に学修する。

専門科目の必修科目は、「コア科目」が8単位、「共通科目」が25単位、「幼児領域」が40単位、「小学校領域」が34単位、それに加え、「卒業研究」が4単位の、合計107単位である。

卒業要件として、学部共通科目と専門科目合計で131単位以上を必要とする。

(3) 取得可能な資格

- ① 小学校教諭一種免許状
- ② 幼稚園教諭一種免許状
- ③ 保育士資格
- ④ スポーツインストラクター ※認定試験受験資格
- ⑤ レクリエーションインストラクター

4. アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

こどもの生活学科では、子どもの教育・保育に関して強い関心を抱き、この分野の専門家として社会に貢献したいという意欲を持った人を求める。

そこで、次に掲げような人を積極的に受け入れる。

(A) 学力の3要素について

(A-1) 基礎的・基本的な知識・技能について

国語、地歴・公民、数学、英語、生物、化学に関する高等学校卒業レベルの基礎学力を身につけている。

(A-2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等について

- ① 子どもを取り巻く環境に関する課題を発見し、自分の考えをまとめることができる。
- ② 適切な表現方法で、自分の考えを他者にわかりやすく伝えることができる。
- ③ 体育や芸術の分野において自分らしさを表現することができる。

(A-3) 主体的に学習に取り組む意欲・関心・態度について

- ① 将来の目標を明確に持っている。
- ② 常に自分がすべきことを考えて取り組むことができる。
- ③ 指示されたこと以上の成果を出そうとする意欲がある。

(B) 行動特性について

- ① 何事に対しても積極的に取り組み、継続して努力することができる。
- ② 様々な課題の解決に向けて深く考察し、複数のアイデアを提案できる。
- ③ 内容を整理しながら聞き、わからないことは進んで質問をすることができる。
- ④ 社会のルールに則り、自らの言動を適切に律することができる。

(C) 評価について

- ① 知識・技能については、記述式の筆記試験および調査書で確認する。
- ② 思考力・判断力・表現力等については、記述式の筆記試験および面接で確認する。
- ③ 主体的に学習に取り組む態度については、面接および調査書で確認する。
- ④ 行動特性については、面接および調査書で確認する。

以上よりこどもの生活学科の教育目標に関心をもち、本学で学修する意欲と感心の高い学生を受け入れる。